【八王子市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. １人１台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

　八王子市では、【はちおうじっ子の学びを支える未来の教育】として「自分に合った学び、仲間とともに深める学び、創造性を発揮できる学びの実現　～誰一人取り残さない、ＩＣＴを活用した教育の充実～」をスローガンに掲げて、「実践」「共有」「改善」を繰り返しながら全学校で活用推進を図ります。

1. GIGA第１期の総括

　八王子市では、GIGA第１期を令和５年度までは２つの段階に分けて八王子市版GIGAスクール構想の実現に向けて取り組んでまいりました。

* 1. 準備期（令和２年度）

導入の準備

* + 1. 研究指定校による研究
    2. 使用機器の選定
    3. 児童・生徒及び教員のICT活用の基礎の能力向上
    4. 情報活用能力の一体的な育成
    5. 通信環境整備
    6. ICT機器の操作能力
  1. 開始期・活用期（令和３～５年度）

活用・研究・情報の蓄積と共有

1. 学校情報通信技術支援員、大学等との連携
2. ICT活用指導力向上研修による情報教育のエキスパート養成
3. 情報教育推進委員会による八王子市版GIGAスクール構想に関する取組みの検討

　児童生徒は「教科書のQRコードを読み取り、写真や動画にアクセスする」、「調べたいことについて、インターネットで検索する」、「グループで調べて考えたことをプレゼンテーションにまとめて発表する」など、導入した学習用端末を利用した授業展開に対応できている。

　対して、端末を利用するネットワーク環境の整備、教員間・学校間の利用頻度や活用方法に格差が生じている。また教育委員会事務局と学校の双方にハードウェア及びソフトウェアに起因する課題が発生しており、解消に向けた検討が必須となっている。

1. １人１台端末の利活用方策

　八王子市では八王子市版GIGAスクール構想の定着期と位置づけ、「実践の充実・定着」を図っていくと共に、日常的な利活用の定着と学びの保障に関する取組の強化を図っていく。

1. 全学年・全教科における１人１台学習用端末の活用
   1. 教科書のQRコードを活用した学習内容の理解
   2. 授業支援ツールを活用した情報交換
   3. ドリル型学習コンテンツを活用した知識の定着
   4. 学年・教科ごとの効果的な活用場面・活用方法
   5. 特別支援教育における活用
2. ICTを活用した家庭学習
   1. 課題の配布・提出
   2. ドリル型学習コンテンツによる知識の定着
   3. 発展的・創造的な自主学習
3. ICTの教育相談への活用
   1. オンラインによる面談
   2. オンライン学習の状況把握
4. 非常時のICT活用体制の構築
   1. 定期的なオンライン学習の実施による体制構築
5. 学校外との連携
   1. 市立図書館との連携
   2. 放課後子ども教室との連携　等